

小津茂郎 しげき 馬事研究家、辯護士。明治二十七年二月、二十五日二重  
 縣生れ（一九〇一）。京都帝國大學法學部、東京帝大經濟學部卒。宮内  
 省帝室林野局、農林省馬政司、東京・熊本營林局勤務十數年。戦後司  
 法官に轉じ、定年退官後辯護士開業。日本辯護士連合會の機關誌『白  
 由』正義編輯長。

著書に、『心耳氣眼』（馬の心理と表  
 情）』（東京馬事寫眞研究会撮影、

昭和二十年二月五日北原出版株式  
 會社）、隨筆『おまのん』（昭和

二十一年八月十日日本林業會）、

『馬のノート』（昭和二十年一月一日朝日新聞社「朝日文文化手帖」）、

『おうま隨筆』（昭和二十一年六月二十八日東亜出版社）、『馬に憑

かれた人』（昭和五十二年七月十五日ダヴィッド社）等。

